

(様式)

平成26年度 阿南市立桑野小学校「学力向上実行プラン」

学力・学習状況における現状分析，目標等

(1) 基礎的・基本的な知識・技能の習得

児童生徒の状況		
よ さ	学習課題にまじめに取り組むことができ，基本的な計算や漢字の読み書きについては，学年によって差があるが，7～8割の定着がみられる。	課題 学習中の姿勢が崩れやすく，学習に対する集中力が持続しない児童がいる。また，学習の積み重ねが難しい児童もいる。
具体的目標(目指す子どもの姿)	成果指標	達成状況
学習課題や毎日の宿題にまじめに取り組み，既習の計算や漢字の読み書き等の基礎的な知識・技能を身に付けることができる。	定期的な確認テスト(漢字・計算を中心に)で，正答率90%以上にする。	計算は指標に達成している。漢字については，未達成の児童がどの学年にもいる。 ----- 評価
具体的方策(教員の取組)	取組指標	取組状況
①計算・漢字・日記・音読等の宿題を計画的・継続的に出し，学習習慣を身に付けさせる。 ②朝の活動をドリルタイム・読書タイムとし，知識・技能の習得を図る。 ----- *中間期の見直し 繰り返し学習を継続していく。文章題やさまざまな問題を解く機会を組み込んでいく。	①学年×10分以上の学習時間を継続していく。(1年は，20分とする。) ②単元ごとに定着確認テストを行う。	各学年とも継続的に取り組みを実施している。
達成状況を踏まえた改善事項		

(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況		
よ さ	1分間スピーチや授業中の発表だけでなく，全校朝会や集会で，自分の考えを発言できる児童が増えてきた。	課題 自分の考えを根拠づけるための情報の整理や聞き取った内容を要約する力に課題がある。
具体的目標(目指す子どもの姿)	成果指標	達成状況
必要な情報を分類・整理し，自分の考えを記録したり，発表したりできる。	必要な情報を新聞や本，インターネットで収集できる児童を80%以上にする。	新聞に興味を示す児童が増えているが，指標には達していない。 ----- 評価
具体的方策(教員の取組)	取組指標	取組状況
①授業の中で目的に応じた読み方・書き方・伝え方を意図的に組み込む。 ②校内研修により，課題の改善に有効な指導策を探る。 ----- *中間期の見直し 学習の中で，聴いて，自分の考えを伝えていく言語活動の場を意図的に組み込んでいく。	①月1回以上ノートやワークシートの紹介，伝える場を設ける。 ②一人年1回以上の研究授業や部会別研究会を学期3回以上実施する。	書画カメラ等の活用によって，児童相互の意見交換の場が設定できた。
達成状況を踏まえた改善事項		

(3) 主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況		
よ さ	朝・週末・雨の日の読書が定着している。学習課題や家庭学習にまじめに取り組み、毎日、宿題を提出できている。	課題 自ら課題を見つけて自主的に学習に取り組むことが苦手である。 学習に必要な忘れ物がある。
具体的目標(目指す子どもの姿)	成果指標	達成状況
家庭の協力のもと、基本的な生活習慣を身に付け、自ら課題を見つけて取り組むことができる。	「家庭学習の手引き」の児童の活用率を90%以上にする。	PTA 総会等において、連携を図ってきているが、達成状況を把握するのは難しい。 ----- 評価
具体的方策(教員の取組)	取組指標	取組状況
学年にあった家庭学習ができるよう指導し、家庭と協力して取り組む。 * 中間期の見直し 「家庭学習の手引き」を自主学習に活用するよう学校で指導の上、保護者へも啓発していく。	一月に一週間、生活チェックカードで基本的な生活習慣や家庭学習の状況を確認する。	生活チェックカードは、生活を振り返るいい機会になるので、長期休業中にも実施している。
達成状況を踏まえた改善事項		